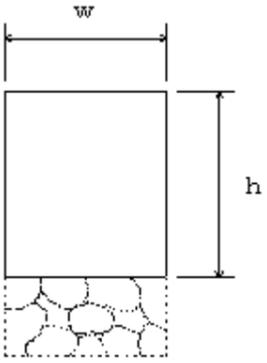


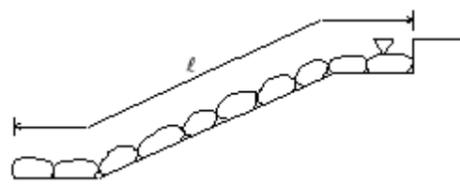
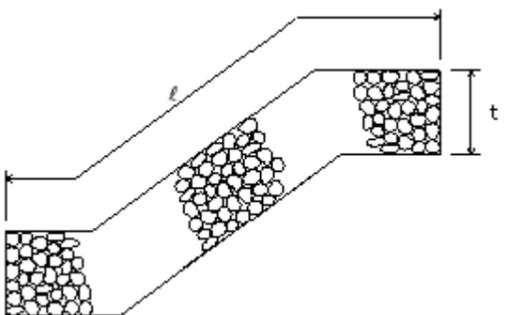
出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

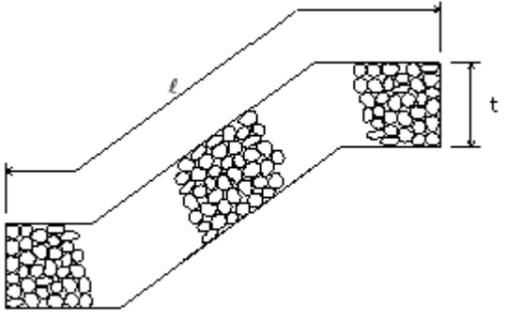
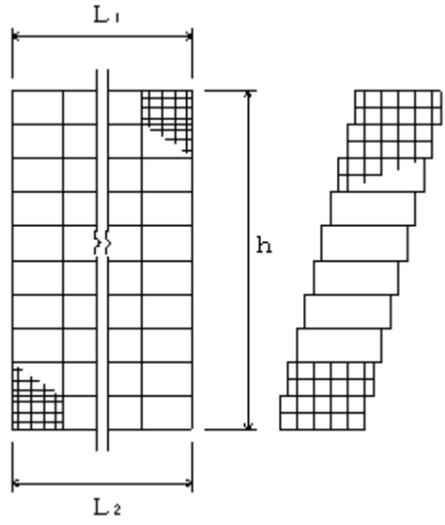
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	1	3	3		法留基礎工			第1編 3-4-3 法留基礎工に準ずる。		
2	1	3	4		矢板工			第1編 3-3-4 矢板工に準ずる。		
2	1	4	3		笠コンクリート工			第1編 3-4-3 法留基礎工に準ずる。		
2	1	4	4		矢板工			第1編 3-3-4 矢板工に準ずる。		
2	1	5	3		コンクリートブロック工			第1編 3-5-3 コンクリートブロック工に準ずる。		

出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

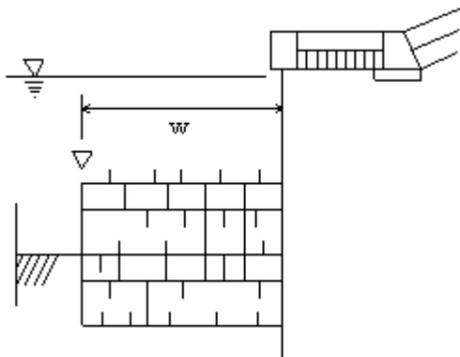
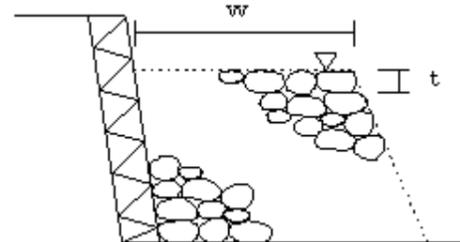
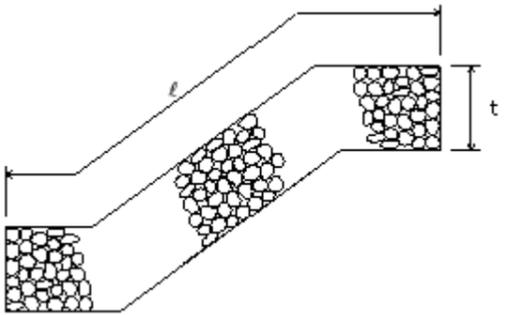
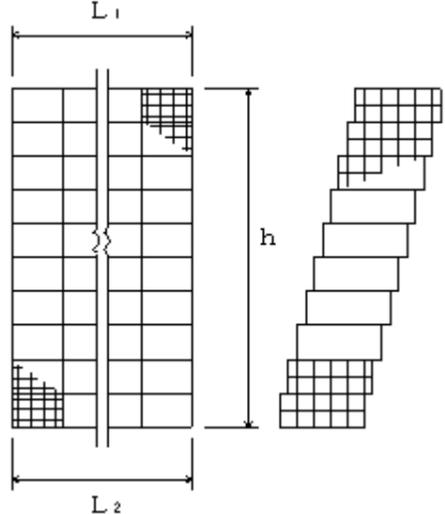
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2 河川編	1 築堤・護岸	5 法覆護岸工	4		護岸附属物工	幅 w	-30	各格子間の中央部1箇所を測定。		
						高さ h	-30			
2 河川編	1 築堤・護岸	5 法覆護岸工	5		緑化ブロック工			第1編 3-5-4 緑化ブロック工に準ずる。		
2 河川編	1 築堤・護岸	5 法覆護岸工	6		環境護岸ブロック工			第1編 3-5-3 コンクリートブロック工に準ずる。		
2 河川編	1 築堤・護岸	5 法覆護岸工	7		石張り・石積み工			第1編 3-5-5 石積(張)工に準ずる。		
2 河川編	1 築堤・護岸	5 法覆護岸工	8		法枠工			第1編 3-3-5 法枠工に準ずる。		

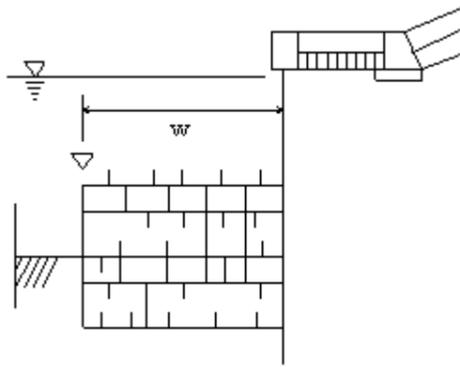
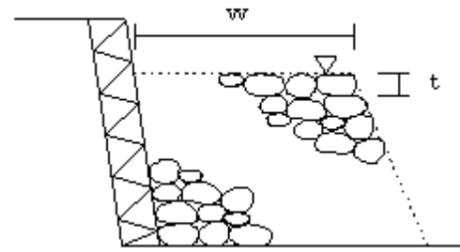
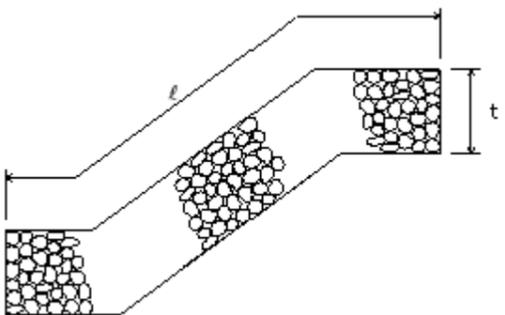
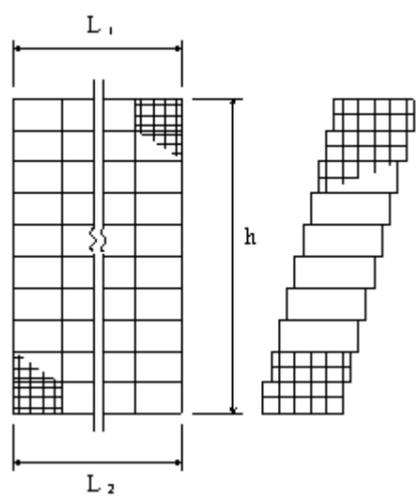
出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
2	河川編	1	5	9	1	多自然型護岸工 (巨石張り)	基準高	±500	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
						(巨石積み)	法長 \square	-200			
							延長 L	-200			
2	河川編	1	5	9	2	多自然型護岸工 (かごマット)	法長 \square	-100	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
							厚さ t	-0.2t			
							延長 L	-200			
2	河川編	1	5	10		吹付工		第1編 3-3-6 吹付工に準ずる。			
2	河川編	1	5	11		植生工		第1編 3-3-7 植生工に準ずる。			

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要			
2	河川編	1	築堤・護岸	5	法覆護岸工	12		第1編 4-3-5 整形仕上げ工に準ずる。					
2	河川編	1	築堤・護岸	5	法覆護岸工	13	1	羽口工 (じゃかご)	法長 $a < 3m$	-50	施工延長 20mにつき 1箇所、延長 20m以下のものは 1施工箇所につき 2箇所。		
									法長 $a \geq 3m$	-100			
									厚さ t	-50			
2	河川編	1	築堤・護岸	5	法覆護岸工	13	2	羽口工 (ふとんかご) (かご枠)	高さ h	-100	施工延長 20mにつき 1箇所、延長 20m以下のものは 1施工箇所につき 2箇所。		
									延長 L_1, L_2	-200			
2	河川編	1	築堤・護岸	5	法覆護岸工	13	3	羽口工 (連節ブロック張り)		第1編 3-5-3-3 連節ブロック張りに準ずる。			

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
2	1	6	3		コンクリート擁壁工	基準高	±50	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
						厚さ t	-20				
						裏込厚さ	-50				
						幅 W1, W2	-30				
						高さ	h < 3m				-50
							h ≥ 3m	-100			
延長 L	-200	1 施工箇所毎。									
2	1	6	4		プレキャスト擁壁工	基準高	±50	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
						延長 L	-200				1 施工箇所毎。
2	1	7	3		根固めブロック工	基準高	層積	±100	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
							乱積	±t/2			
						幅 W1, W2	厚さ t	-20	幅、厚さは40個につき1箇所測定。		
							層積	-20			
						延長 L1, L2	乱積	-t/2			
							層積	-200	1 施工箇所毎		
乱積	-t/2										

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要			
2	河川編	1	築堤・護岸	7	根固め工	5	沈床工	基準高	±150	1組毎			
							幅 w	±300					
							延長 L	-200					
2	河川編	1	築堤・護岸	7	根固め工	6	捨石工	基準高	±100	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
							幅 w	-t/2					
							延長 L	-t/2					
2	河川編	1	築堤・護岸	7	根固め工	7	1	かご工 (じゃかご)	法長 $\square < 3m$	-50	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
								法長 $\square \geq 3m$	-100				
								厚さ t	-50				
2	河川編	1	築堤・護岸	7	根固め工	7	2	かご工 (ふとんかご)	高さ h	-100	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
								延長 L_1, L_2	-200				

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	1	8	3		沈床工	基準高	±150	1組毎		
						幅 w	±300			
						延長 L	-200			
2	1	8	4		捨石工	基準高	-100	施工延長 20mにつき 1箇所、延長 20m以下のものは 1 施工箇所につき 2箇所。		
						幅 w	-t/2			
						延長 L	-t/2			
2	1	8	5	1	かご工 (じゃかご)	法長 $\square < 3m$	-50	施工延長 20mにつき 1箇所、延長 20m以下のものは 1 施工箇所につき 2箇所。		
						法長 $\square \geq 3m$	-100			
						厚さ t	-50			
2	1	8	5	2	かご工 (ふとんかご)	高さ h	-100	施工延長 20mにつき 1箇所、延長 20m以下のものは 1 施工箇所につき 2箇所。		
						延長 L_1, L_2	-200			

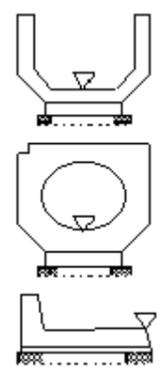
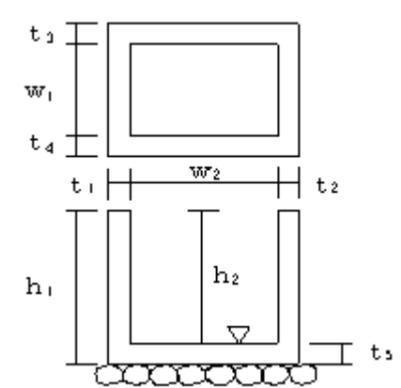
出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2 河川編	1 築堤・護岸	8 水制工	8		杭出し水制工	基準高	±50	1組毎		
						幅 w	±300			
						方向	±7°			
						延長 L	-200			
2 河川編	1 築堤・護岸	9 付帯道路工	3		アスファルト舗装工			第1編 3-6-5 アスファルト舗装工に準ずる。		
2 河川編	1 築堤・護岸	9 付帯道路工	4		コンクリート舗装工			第1編 3-6-6 コンクリート舗装工に準ずる。		
2 河川編	1 築堤・護岸	9 付帯道路工	5		薄層カラ-舗装工			第1編 3-6-7 薄層カラ-舗装工に準ずる。		

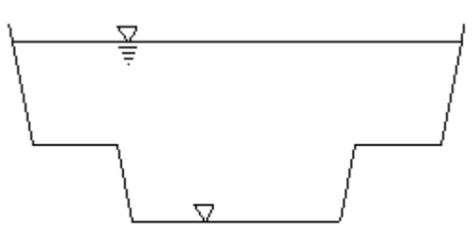
出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値			測定基準	測定箇所	摘要
							個々の測定値(X)		10個の測定値の平均(X ₁₀)			
							中規模以上	小規模以下	中規模以上			
2	1	9	6	1	ブロック舗装工 (下層路盤工)	基準高	±40	±50	-	基準高は延長20m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。厚さは、各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長20m毎に1箇所の割に測定。	・工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X ₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	
						厚さ	-45		-15			
						幅	-50		-			
2	1	9	6	2	ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚さ	-25	-30	-8	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。		
						幅	-50		-			
2	1	9	6	3	ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	厚さ	-25	-30	-8	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコア-を採取もしくは掘り起こして測定。	・工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X ₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	
						幅	-50		-			
2	1	9	6	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	厚さ	-15	-20	-5	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコア-を採取して測定。	コア-採取について 橋面舗装等でコア-採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	
						幅	-50		-			
2	1	9	6	5	ブロック舗装工 (基層工)	厚さ	-9	-12	-3	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコア-を採取して測定。		
						幅	-25		-			

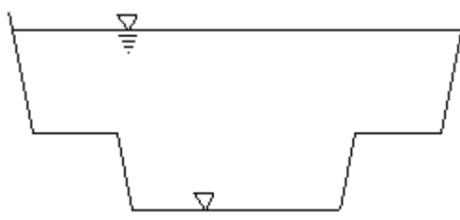
出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	1	9	7		側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝) (自由勾配側溝) (管渠)	基準高	±30	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。 1施工箇所毎		
						延長L	-200			
2	1	9	8		集水柵工	基準高	±30	1箇所毎 は、現場打部分のある場合		
						厚さt ₁ ~t ₅	-20			
						幅W ₁ ,W ₂	-30			
						高さh ₁ ,h ₂	-30			
2	1	9	9		縁石工			第1編3-3-8縁石工に準ずる。		
2	1	9	10		小型標識工			第1編3-3-9小型標識工に準ずる。		

出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

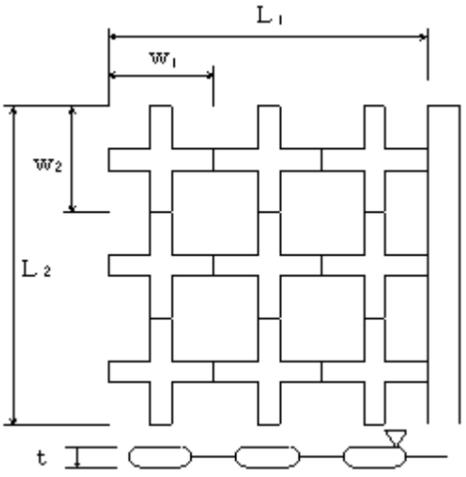
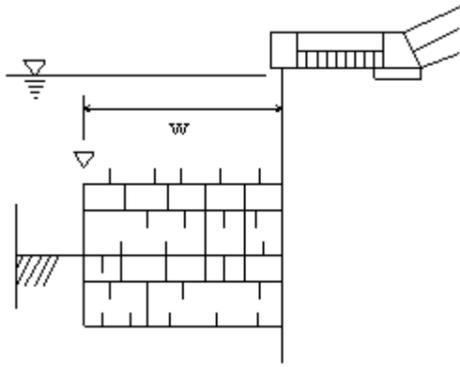
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要				
2	河川編	1	9	11	路側防護柵工			第1編 3-3-11 路側防護柵工に準ずる。						
2	河川編	1	9	12	区画線工			第1編 3-3-12 区画線工に準ずる。						
2	河川編	1	9	14	道路付属物工			第1編 3-3-13 道路付属物工に準ずる。						
2	河川編	2	2	2	浚渫船運転工	基準高	上限 下限	延長方向は、設計図書により指定された測点毎。 横断方向は、5m毎。 また、斜面は法尻、法肩とし必要に応じ中間点も加える。ただし、各測定値の平均値の設計基準高以下であること。						
											電気船	200ps	+ 200	- 800
												500ps	+ 200	-1000
												1000ps	+ 200	-1200
											ディーゼル船	250ps	+ 200	- 800
												420ps 600ps	+ 200	-1000
												1350ps	+ 200	-1200
											幅	w	-200	
											延長	L	-200	

出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

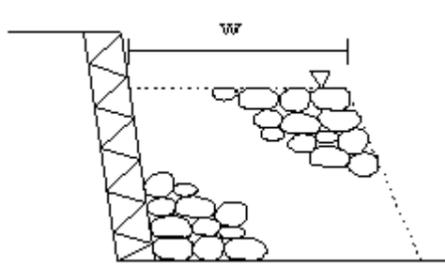
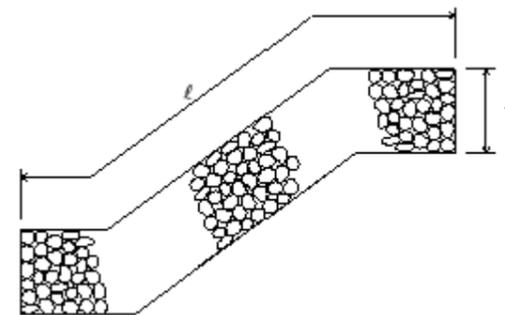
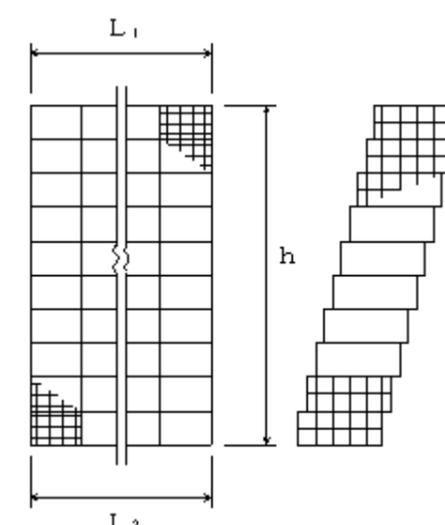
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	河川編	3	浚渫船(グラブ船)	2	浚渫船運転工	基準高	上限 +200	延長方向は、設計図書により指定された測点毎。 横断方向は、5m毎。 また、斜面は法尻、法肩とし必要に応じ中間点も加える。ただし、各測定値の平均値の設計基準高以下であること。		
						幅 w	-200			
						延長 L	-200			
2	河川編	3	樋門・樋管	3	既製杭工			第1編 3-4-4 既製杭工に準ずる。		
2	河川編	3	樋門・樋管	4	場所打杭工			第1編 3-4-5 場所打杭工に準ずる。		
2	河川編	3	樋門・樋管	5	矢板工			第1編 3-3-4 矢板工に準ずる。		

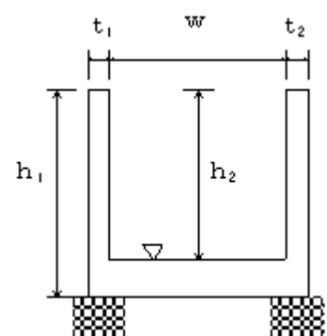
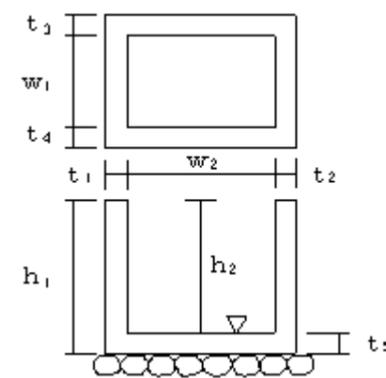
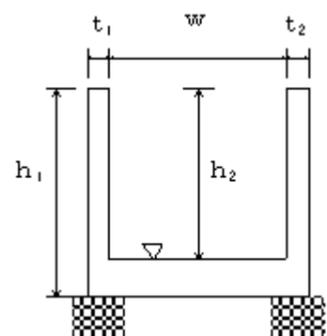
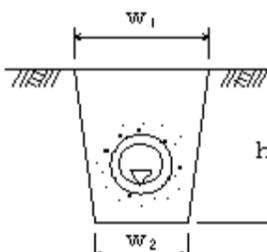
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	3	3	6	1	函渠工 (本体工)	基準高	±30	柔構造樋門の場合は埋戻前(載荷前)に測定する。 函渠寸法は、両端、施工継手箇所及び図面の寸法表示箇所 で測定。 門柱、操作台等は、図面の寸法表示箇所 で測定。 プレキャスト製品使用の場合は、製品寸法を規格証明書で確認 するものとし、「基準高」と「延長」を測定。		
						厚さ t ₁ ~t ₈	-20			
						幅 W ₁ , W ₂	-30			
						内空幅 W ₃	-30			
						内空高 h ₁	±30			
						延長 L	-200			
2	3	3	6	2	函渠工 (ヒューム管) (PC管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)	基準高	±30	施工延長 20mにつき 1 箇所、延長 20m以下のものは 1 施工 箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
						延長 L	-200			

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	3	3	6	3	函渠工 (PC函渠)	基準高	±30	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。 印は、現場打部分のある場合		
						幅 w	-50			
						高さ h	-30			
						延長 L	-200			
2	3	3	7		翼壁工	基準高	±30	図面の寸法表示箇所にて測定。		
						厚さ t	-20			
						幅 w	-30			
						高さ h	±30			
2	3	3	8		水叩工	基準高	±30	図面の寸法表示箇所にて測定。		
						厚さ t	-20			
						幅 w	-30			
						高さ h	±30			
						延長 L	-50			

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
2	河川編	3	4	3	根固めブロック工	基準高	層積	±100	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1箇所につき2箇所。		
							乱積	±t/2			
						厚さ t		-20	幅、厚さは20個につき1箇所測定。		
						幅 W1 W2	層積	-20			
							乱積	-t/2			
						延長 L1 L2	層積	-200	1 施工箇所毎		
							乱積	-t/2			
2	河川編	3	4	5	沈床工	基準高	-150	1 組毎			
						幅 w	±300				
						延長 L	-200				

出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	3	4	6		捨石工	基準高	-100	施工延長 20mにつき 1箇所、延長 20m以下のものは 1 箇所につき 2箇所。		
						幅 w	-100			
						延長 L	-200			
2	3	4	7	1	かご工 (じゃかご)	法長 $a < 3m$	-50	施工延長 20mにつき 1箇所、延長 20m以下のものは 1 箇所につき 2箇所。		
						法長 $a \geq 3m$	-100			
						厚さ t	-50			
2	3	4	7	2	かご工 (ふとんかご)	高さ h	-100	施工延長 20mにつき 1箇所、延長 20m以下のものは 1 箇所につき 2箇所。		
						延長 L_1, L_2	-200			

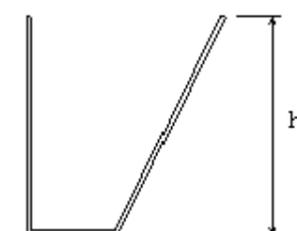
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	3	5	2		側溝工	基準高	±30	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。なお、製品使用の場合、製品寸法については規格証明書等による。		
						厚さ t_1, t_2	-20			
						幅 w	-30			
						高さ h_1, h_2	-30			
						延長 L	-200	1施工箇所毎		
2	3	5	3		集水枡工	基準高	±30	1箇所毎 は現場打部分のある場合		
						厚さ $t_1 \sim t_5$	-20			
						幅 w_1, w_2	-30			
						高さ h_1, h_2	-30			
						延長 L	-200	1施工箇所毎		
2	3	5	5		堤脚水路工	基準高	±30	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。なお、製品使用の場合、製品寸法については規格証明書等による。		
						厚さ t_1, t_2	-20			
						幅 w	-30			
						高さ h_1, h_2	-30			
						延長 L	-200	1施工箇所毎		
2	3	5	6		暗渠工	基準高	±30	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。なお、製品使用の場合、製品寸法については規格証明書等による。		
						幅 w_1, w_2	-50			
						深さ L	-30			
						延長 L	-200			

出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

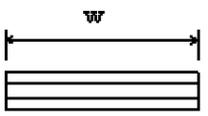
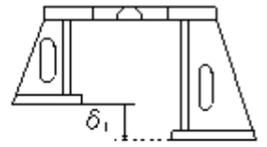
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	3	5	7		樋門接続暗渠工	基準高	±30	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。 印は、現場打部分のある場合。 1施工箇所毎		
						幅 w	-50			
						高さ h	-30			
						延長 L	-200			
2	3	6	5		階段工 (現場打階段) (プレキャスト階段)	幅 w	-30	1箇所 / 1施工箇所		
						高さ h	-30			
						長さ L	-30			
						段数	±0段			
2	3	6	6		防止柵工			第1編 3-3-10 防止柵工に準ずる。		

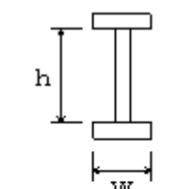
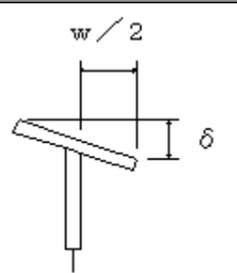
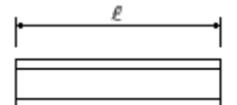
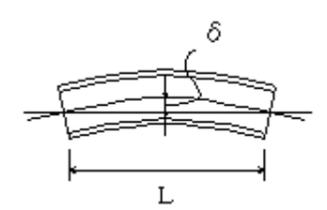
出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2 河川編	4 水門	3 水門工	3		水門	基準高	±30	図面の寸法表示箇所で測定。		
						厚さ t	-20			
						幅 w	-30			
						高さ h	±30			
						延長 L	-50			
2 河川編	4 水門	3 水門工	4		扉体、戸当り及び開閉装置			機械工事施工管理基準(案)参照		
2 河川編	4 水門	4 水門の塗装	3		水門塗装			機械工事施工管理基準(案)参照		
2 河川編	5 堰	3 工場製作工	3		刃口金物製作工	刃口高さ h (m)	±2.....h 0.5 ±3.....0.5<h 1.0 ±4.....1.0<h 2.0	図面の寸法表示箇所で測定。		
						外周長 π (m)	±(10+L/10)			
2 河川編	5 堰	3 工場製作工	4	1	桁製作工			第1編 3-3-14-1 桁製作工に準ずる。		
2 河川編	5 堰	3 工場製作工	4	2	桁製作工 (仮組立による検査を省略する場合)			第1編 3-3-14-2 桁製作工(仮組立による検査を省略する場合)に準ずる。		



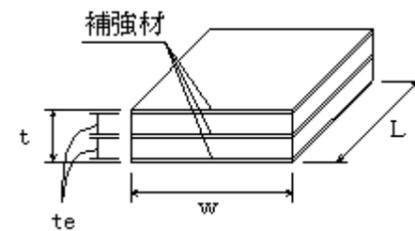
出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目		規格値	測定基準	測定箇所	摘要		
						部材							
2	5	3	5		検査路製作工	部材	部材長 L(m)	±3.....L ≤ 10 ±4.....L > 10	図面の寸法表示箇所にて測定。				
2	5	3	6		鋼製伸縮継手製作工	部材	部材長w(m)	-5 ~ +10...w ≤ 10 -5 ~ +(5 + w/2)...w > 10	製品全数を測定。				
						仮組立時	組合せる伸縮装置との高さの差 1(mm)	設計値 ±4				両端及び中央部付近を測定。	
							フィンガ-の食い違い 2(mm)	2					
													(実測値) delta_2
2	5	3	7		鋼製耐震連結装置製作工	部材	部材長 L(m)	±3.....L ≤ 10 ±4.....L > 10	図面の寸法表示箇所にて測定。				
2	5	3	8		鋼製排水管製作工	部材	部材長 L(m)	±3.....L ≤ 10 ±4.....L > 10	図面の寸法表示箇所にて測定。				

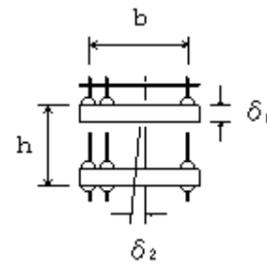
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
2	5	3	9		プレビム用桁製作工	部材	フランジ幅w(m) 腹板高 h(m)	$\pm 2 \dots w \leq 0.5$ $\pm 3 \dots 0.5 < w \leq 1.0$ $\pm 4 \dots 1.0 < w \leq 2.0$ $\pm (3 + w / 2) \dots 2.0 < w$	各支点及び各支間中央付近を測定。	 I型プレート ガーター	
						部材	フランジの直角度 (mm)	w / 200	各支点及び各支間中央付近を測定。		
						部材	部材長 L(m)	$\pm 3 \dots L \leq 10$ $\pm 4 \dots L > 10$	原則として仮組立をしない部材について主要部材全数で測定。		
						仮組立時	主桁のそり	$-5 \sim +5 \dots L \leq 20$ $-5 \sim +10 \dots 20 < L \leq 40$	各主桁について 10 ~ 12m間隔を測定。		
2	5	3	10		橋梁用防護柵製作工	部材	部材長dL(m)	$\pm 3 \dots L \leq 10$ $\pm 4 \dots L > 10$	図面の寸法表示箇所を測定。		

出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

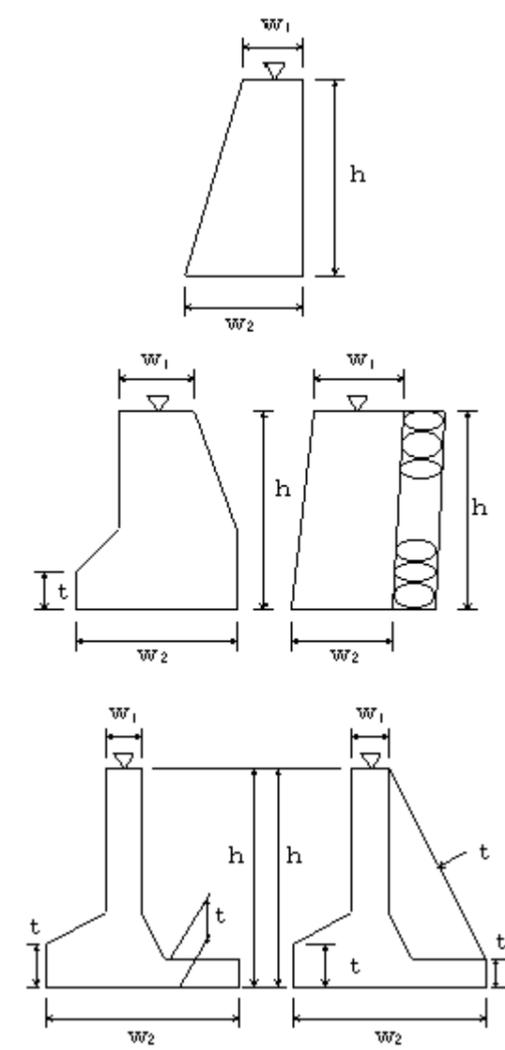
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要									
2	5	3	11	1	鑄造費 (金属支承工)	上下部 構造物と の接合 用ボルト 孔	孔の直径差	+2 -0	製品全数を測定。										
							中心距離	1000mm				±1							
								>1000mm				±1.5							
						アンカー-ボ ルト孔	孔の直径	100mm				+3 -1							
								>100mm				+4 -2							
							孔の中心距離					JIS B 0412 並級							
						センター-ボ ス	ボスの直径	+0 -1											
							ボスの高さ	+1 -0											
						2	5	3				11	1	鑄造費 (金属支承工)	上沓の橋軸及び直角方向の長さ寸法	JIS B 0412 中級	製品全数を測定。		
															全移動 量	□ 300mm			
□ > 300mm	□ / 100																		
組立絶 対高さ	上、下面加工仕上げ		±3																
	コンクリ-ト構 造用	h 300mm	±3																
		h > 300mm	(h/200+3)小数点以下切り捨て																
普通寸 法	鑄放し長さ寸法		JIS B 0412 並級																
	鑄放し肉厚寸法		JIS B 0412 並級																
	鑄放し加工寸法		JIS B 0405 並級																
2	5	3	11	2	鑄造費 (大型ゴム支承工)				幅w	w, L, D 500	0 ~ +5				製品全数を測定。				
						長さL	500 < w, L, D 1500mm	0 ~ +1%											
						直径D	1500 < w, L, D	0 ~ +15											
						厚さt	t 20mm	0 ~ +1											
							20 < t 160	0 ~ +5%											
							160 < t	0 ~ +8											
						平面度		±1											
						平行度	te 16	±1											
							te > 16	10%											



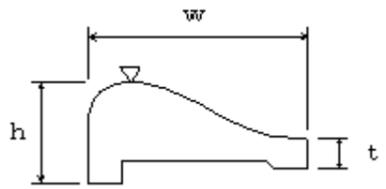
出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
2 河川 編	5 堰	3 工場 製作 工	12		アンカ-フレム製作工	仮組立時	上面水平度 δ_1 (mm)	$b / 500$	軸心上全数測定。		
							鉛直度 δ_2 (mm)	$h / 500$			
							高さ h(mm)	± 5			
2 河川 編	5 堰	3 工場 製作 工	13		仮設材製作工	部材	部材長 L(m)	$\pm 3 \dots L \leq 10$ $\pm 4 \dots L > 10$	図面の寸法表示箇所で測定。		
2 河川 編	5 堰	3 工場 製作 工	14		工場塗装工			第1編 3-3-15 工場塗装工に準ずる。			
2 河川 編	5 堰	4 可動 堰本 体工	3		既製杭工			第1編 3-4-4 既製杭工に準ずる。			
2 河川 編	5 堰	4 可動 堰本 体工	4		場所打杭工			第1編 3-4-5 場所打杭工に準ずる。			
2 河川 編	5 堰	4 可動 堰本 体工	5		オープンケ-ソン基礎工			第1編 3-4-7 オープンケ-ソン基礎工に準ずる。			
2 河川 編	5 堰	4 可動 堰本 体工	6		ニューマチックケ-ソン基礎工			第1編 3-4-8 ニューマチックケ-ソン基礎工に準ずる。			

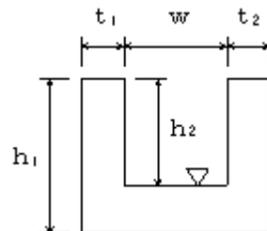
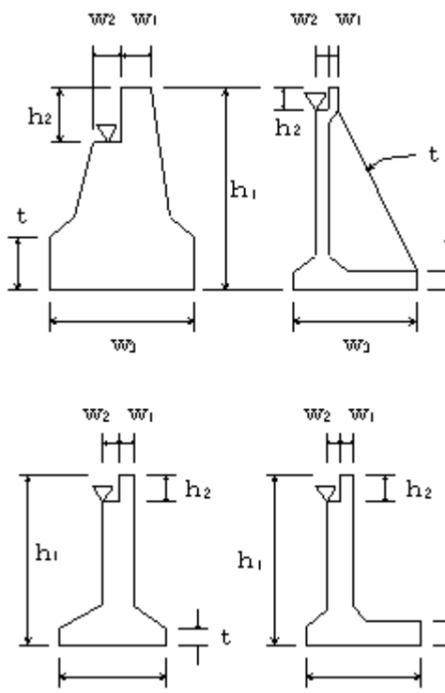
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要		
2	河川編	5	堰	4	7	矢板工		第1編 3-3-4 矢板工に準ずる。				
2	河川編	5	堰	4	8	床版工	基準高	±30	図面の寸法表示箇所にて測定。			
						堰柱工	厚さ t	-20				
						門柱工	幅 w	-30				
						ゲ-ト操作台工	高さ h	±30				
						水叩工	延長 L	-50				
13	開門工											
14	土砂吐工											
2	河川編	5	堰	4	15	取付擁壁工	基準高	±50	施工延長 20mにつき 1箇所、20m以下のものは 1施工箇所につき 2箇所。			
							厚さ t	-20				
							裏込厚さ	-50				
							幅 w ₁ , w ₂	-30				
							高さ h	h < 3m				-50
								h ≥ 3m				-100
延長 L	-200	1 施工箇所毎										



出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	河川編	5	5	3	既製杭工			第1編 3-4-4 既製杭工に準ずる。		
2	河川編	5	5	4	場所打杭工			第1編 3-4-5 場所打杭工に準ずる。		
2	河川編	5	5	5	オープンケ-ソン基礎工			第1編 3-4-7 オープンケ-ソン基礎工に準ずる。		
2	河川編	5	5	6	ニューマチックケ-ソン基礎工			第1編 3-4-8 ニューマチックケ-ソン基礎工に準ずる。		
2	河川編	5	5	7	矢板工			第1編 3-3-4 矢板工に準ずる。		
2	河川編	5	5	8 9 10	堰本体工 水叩工 土砂吐工	基準高	±30	基準高、幅、高さ、厚さは両端、施工継手箇所及び構造図の寸法表示箇所にて測定。		
						厚さ t	-20			
						幅 w	-30			
						高さ h	±30			
						堰長	L < 20m			
L ≥ 20m	-100									

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	5	河川	5	11	取付擁壁工	基準高	±50	施工延長20mにつき1箇所、20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
						厚さ t	-20			
						裏込厚さ	-50			
						幅 w_1, w_2	-30			
						高さ h	$h < 3m$			
							$h \geq 3m$	-100		
						延長 L	-200	1 施工箇所毎		

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	5	6	3		魚道本体工	基準高	±30	施工延長20mにつき1箇所、20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。(なお、製品使用の場合の製品寸法は、規格証明書等による)		
						厚さ t ₁ , t ₂	-20			
						幅 w	-30			
						高さ h ₁ , h ₂	-30			
						延長 L	-200			
2	5	7	2		管理橋橋台工	基準高	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は図面の寸法表示箇所にて測定。		
						厚さ t	-20			
						天端幅 w ₁ (橋軸方向)	-10			
						天端幅 w ₂ (橋軸方向)	-10			
						敷幅 w ₃ (橋軸方向)	-50			
						高さ h ₁	-50			
						胸壁の高さ h ₂	-30			
						天端長 d ₁	-50			
						敷長 d ₂	-50			
						胸壁間距離 □	±30			
支点長及び中心線の変化	±50									
2	5	8	4		架設工 (クレーン架設) (ケーブルクレーン架設) (ケーブルエレクション架設) (架設桁架設) (送出し架設) (トラベラ-クレーン架設)	全長・支間		各桁毎に全数測定。		
						桁・トラスの中心間距離		一連毎の両端及び支間中央について各上下間を測定。		
						そり	L 40m... ±25 L > 40m... ± {25 + (L-40)}	主桁、主構を全数測定。		

出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

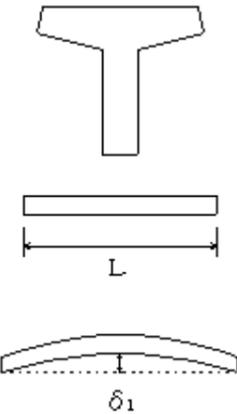
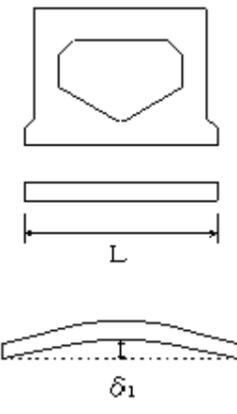
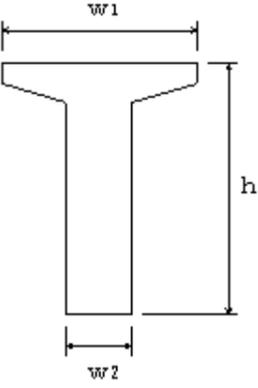
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	5	8	10		現場継手工	現場継手部のすき間 1, 2(mm)	5 ±5	主桁、主構の全継手数の1/2を測定。 は耐候性鋼材(裸使用)の場合		
2	5	8	11		橋梁現場塗装工	塗膜厚	a. ロットの塗膜厚の平均値は目標塗膜厚合計値の90%以上。 b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%以上。 c. 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%を超えない。ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。	塗装終了時に測定。 1ロットの大きさは、500㎡とする。 1ロット当たりの測定数は25点とし、各点の測定は5回行い、その平均値をその点の測定値とする。		
2	5	8	12		床版工	基準高	±20	基準高は、1径間当たり2箇所(支点付近)で、1箇所当たり両端と中央部3点、幅は1径間当たり3箇所、厚さは型枠設置時におおむね10㎡に1箇所測定。(床版の厚さは、型枠検査をもって代える。)		
						幅 w	±30			
						厚さ t	+20~-10			
						鉄筋の有効高さ	±10			
						鉄筋のかぶり	設計値以上			
						鉄筋間隔	±20 +10 (有効高さがマイナスの場合)			

出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

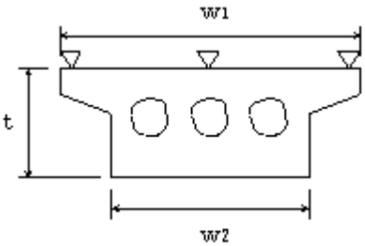
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要				
2	河川編	5	堰	8	鋼管理橋上部工	13	1	支承工 (鋼製支承)	据付け高さ	±5	支承全数を測定。 B: 支承中心間隔(m)			
									可動支承の橋軸方向のずれ	±10				
									支承中心間隔 (橋軸直角方向)	$4 + 0.5 \times (B - 2)$				
									下沓の水 平度	橋軸方向				1/100
										橋軸直角方向				1/100
									同一支承線上の可動支承のずれの相対誤差	±5				
2	河川編	5	堰	8	鋼管理橋上部工	13	2	支承工 (ゴム支承)	据付け高さ	±5	支承全数を測定。 上部構造部材下面とゴム支承面との接触面、及びゴム支承と台座モルタルとの接触面に肌すきが無いことを確認する。			
									支承中心間隔	±10				
									下沓の水 平度	橋軸方向				1/300 以下、5mm 以下
										橋軸直角方向				
2	河川編	5	堰	8	鋼管理橋上部工	14	1	橋梁付属物工 (伸縮装置工) ゴムジョイント	据付け高さ	舗装面に対し 0~-2	両端及び中央部付近を測定。			
									表面の凹凸	3				
									仕上げ高さ	舗装面に対し 0~-2				

出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

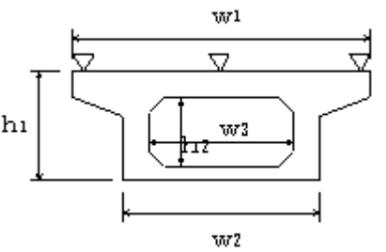
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
2	5	8	14	2	橋梁付属物工 (鋼製フィンガ-ジョイント)	高さ	据付け高さ	±3	高さについては車道端部、中央部各3点計9点。 縦方向及び横方向間隔は両端、中央部の3点。		
						車線方向各点誤差の相対差	3				
						表面の凹凸	3				
						歯型板面の歯咬み 合い部の高低差	2				
						縦方向間隔	±2				
						横方向間隔	±5				
						仕上げ高さ	舗装面に対し0~-2				
2	5	8	14	3	橋梁付属物工 (地覆工)	地覆の幅 w_1	+20~-10	1径間当たり両端と中央部の3箇所測定。			
						地覆の高さ h	+20~-10				
						有効幅員 w_2	+30~0				
2	5	8	14	4	橋梁付属物工 (橋梁用防護柵工) (橋梁用高欄工)	幅	+10~-5	1径間当たり両端と中央部の3箇所測定。			
						高さ h	±10				

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	5	9	2	1	プレテンション桁購入工 (けた橋)	桁長 L	$\pm L/10$	桁全数について測定。 橋桁のそりは中央の値とする。 なお、JIS 製品の場合は、JIS 認定工場の成績表にかえることができる。 JIS 製品以外は JIS 製品に準じる。		
						断面の外形寸法	± 5			
						橋桁のそり δ_1	± 8			
						横方向の曲がり δ_2	± 10			
2	5	9	2	2	プレテンション桁購入工 (スラブ桁)	桁長 L	$\pm 10 \dots L \le 10m$ $\pm L/10 \dots L > 10m$	桁全数について測定。 橋桁のそりは中央の値とする。 なお、JIS 製品の場合は、JIS 認定工場の成績表にかえることができる。 JIS 製品以外は JIS 製品に準じる。		
						断面の外形寸法	± 5			
						橋桁のそり δ_1	± 8			
						横方向の曲がり δ_2	± 10			
2	5	9	3		ポストテンションT(I)桁製作工	幅(上) w_1	+10	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレスング後に測定。桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする。 L:スパン長		
						幅(下) w_2	± 5			
						高さ h	+10 -5			
						桁長 スパン長 L	$L < 15 \dots \pm 10$ $L \ge 15 \dots \pm (L-5)$ かつ -30mm 以内			
						横方向最大タワミ	0.8L			

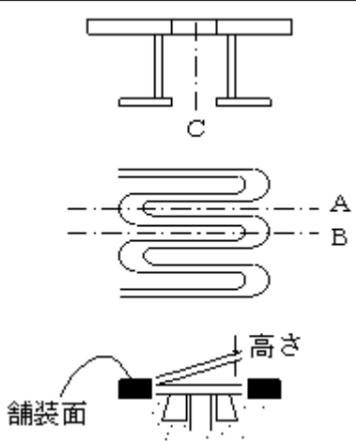
出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	5	9	4		プレキャストセグメント桁購入工	桁長 \square		桁全数について測定。桁断面寸法測定箇所は、一般図の寸法表示箇所にて測定。		
						断面の外形寸法				
2	5	9	5		プレキャストセグメント桁組立工	桁長 スパン長 L	$L < 15... \pm 10$ $L \ 15... \pm (L-5)$ かつ -30mm 以内	全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレスング後に測定。桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする。 L:スパン長		
						横方向最大タワミ	0.8L			
2	5	9	6		PCホロ-スラブ製作工	基準高	± 20	全般について測定。 基準高は、1径間当たり2箇所(支点付近)で、1箇所当たり両端と中央部の3点、幅及び厚さは1径間当たり両端と中央部の3箇所。 横方向最大タワミの測定は、プレストレスング後に測定。 L:スパン長		
						厚さ t	+20 ~ -10			
						幅 w_1, w_2	+30 ~ -5			
						桁長 スパン長 L	$L < 15... \pm 10$ $L \ 15... \pm (L-5)$ かつ -30mm 以内			
						横方向最大タワミ	0.8L			

出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
2	5	9	7		PC箱桁製作工	基準高	±20	桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり2箇所(支点付近)で、1箇所当たり両端と中央部の3点、幅及び高さは1径間当たり両端と中央部の3箇所。横方向タワミの測定は、プレストレスング後に測定。 L:スパン長			
						幅(上) w ₁	+30~-5				
						幅(下) w ₂	+30~-5				
						内空幅 w ₃	±5				
						高さ h ₁	+10~-5				
						内空高さ h ₂	+10~-5				
						桁長 スパン長 L	L < 15... ±10 L 15... ±(L-5) かつ -30mm 以内				
						横方向最大タワミ	0.8L				
2	5	9	8	9	クレーン架設 架設桁架設 架設支保工(固定)	全長・支間		各桁毎に全数測定。			
						けたの中心間距離		一連毎の両端及び支間中央について各上下間を測定。			
						そり		主桁を全数測定。			
2	5	9	11		床版・横組工	基準高	±20	基準高は、1径間当たり2箇所(支点付近)で、1箇所当たり両端と中央部3点、幅は1径間当たり3箇所、厚さは型枠設置時におおむね10㎡に1箇所測定。 (床版の厚さは、型枠検査をもって代える。)			
						厚さ t	+20~-10				
						幅 w	±30				
						鉄筋の有効高さ	±10				
						鉄筋のかぶり	設計値以上				
						鉄筋間隔	±20 +10 (有効高さがマイナスの場合)				1径間当たり3箇所(両端及び中央)測定。 1箇所の測定は、橋軸方向の鉄筋は全数、橋軸直角方向の鉄筋は加工形状毎に2mの範囲を測定。
2	5	9	12	1	支承工 (鋼製支承)	据付け高さ	±5	支承全数を測定。			
						可動支承の橋軸方向のずれ	±10				
						支承中心間隔 (橋軸直角方向)	±5				
						下沓の水平度	橋軸方向				1/100
							橋軸直角方向				1/100
						同一支承線上の可動支承のずれの相対誤差	±5				

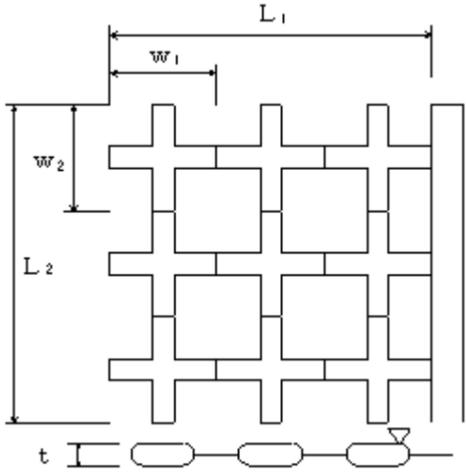
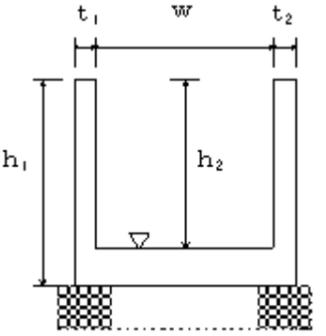
出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
2	5	9	12	2	支承工 (ゴム支承)	据付け高さ	±5	支承全数を測定。 上部構造部材下面とゴム支承面との接触面、及びゴム支承と台座モルタルとの接触面に肌すきが無いことを確認する。			
						支承中心間隔	±10				
						下沓の水平度	橋軸方向				1/300 以下、 5mm 以下
							橋軸直角方向				
2	5	9	13	1	橋梁付属物工 (伸縮装置工) ゴムジョイント	据付け高さ	舗装面に対し 0~-2	両端及び中央部付近を測定。			
						表面の凹凸	3				
						仕上げ高さ	舗装面に対し 0~-2				
2	5	9	13	2	橋梁付属物工 (鋼製フィンガ-ジョイント)	高さ	据付け高さ	±3	高さについては車道端部、中央部各3点計9点。 縦方向及び横方向間隔は両端、中央部の3点		
							車線方向各点 誤差の相対差	3			
						表面の凹凸	3				
						歯型面の歯咬み合い部の高低差	2				
						縦方向間隙	±2				
						横方向間隙	±5				
						仕上げ高さ	舗装面に対し 0~-2				

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2 河川 編	5 堰	9 コン クリ ート 管理 橋上 部工	13	3	橋梁付属物工 (地覆工)	地覆の幅 w_1	+20~-10	1 径間当たり両端と中央部の3箇所測定。		
						地覆の高さ h	+20~-10			
						有効幅員 w_2	+30~0			
2 河川 編	5 堰	9 コン クリ ート 管理 橋上 部工	13	4	橋梁付属物工 (橋梁用防護柵工) (橋梁用高欄工)	幅	+10~-5	1 径間当たり両端と中央部の3箇所測定。		
						高さ h	±10			
2 河川 編	5 堰	9 コン クリ ート 管理 橋上 部工	14		橋梁現場塗装工	塗膜厚	a. ロット塗膜厚の平均値は目標塗膜厚合計値の90%以上。 b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%以上。 c. 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%を超えない。ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。	塗装終了時に測定。 1 ロットの大きさは500 m ² とする。 1 ロット当たりの測定数は25点とし、各点の測定は5回行い、その平均値をその点の測定値とする。		
2 河川 編	6 排水 機場	3 機場 本 体 工	3		既製杭工			第1編 3-4-4 既製杭工に準ずる。		
2 河川 編	6 排水 機場	3 機場 本 体 工	4		場所打杭工			第1編 3-4-5 場所打杭工に準ずる。		
2 河川 編	6 排水 機場	3 機場 本 体 工	5		矢板工			第1編 3-3-4 矢板工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	6	3	6		本体工	基準高	±30	図面の表示箇所にて測定。		
						厚さ t	-20			
						幅 w	-30			
						高さ h ₁ , h ₂	±30			
						延長 L	-50			
2	6	3	7		燃料貯油槽工	基準高	±30	図面の表示箇所にて測定。		
						厚さ t	-20			
						幅 w	-30			
						高さ h	±30			
						延長 L	-50			
2	6	4	3		既製杭工			第1編 3-4-4 既製杭工に準ずる。		
2	6	4	4		場所打杭工			第1編 3-4-5 場所打杭工に準ずる。		
2	6	4	5		矢板工			第1編 3-3-4 矢板工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	6	4	6	6	コンクリート擁壁工	基準高	±50	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
						厚さ t	-20			
						裏込厚さ	-50			
						幅 w1, w2	-30			
						高さ h	-50			
						高さ h	-100			
						延長 L	-200	1 施工箇所毎		
2	6	4	7	コンクリート床版工	基準高	±30	図面の表示箇所にて測定。			
厚さ t	-20									
幅 w	-30									
高さ h	±30									
延長 L	-50									

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要		
2	6	4	8	.	ブロック床版工	基準高	層積	±100	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
							乱積	±t/2				
							厚さ t		-20			幅、厚さは20個につき1箇所測定。
						幅 W ₁ W ₂	層積	-20				
								乱積	-t/2			
								層積	-200			1施工箇所毎
		延長 L ₁ L ₂	乱積	-t/2								
2	6	4	9	.	現場打水路工	基準高		±30	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
							厚さ t ₁ , t ₂	-20				
							幅 w	-30				
							高さ h ₁ , h ₂	-30				
							延長 L	-200	1施工箇所毎			
2	6	5	3	.	既製杭工			第1編 3-4-4 既製杭工に準ずる。				
2	6	5	4	.	場所打杭工			第1編 3-4-5 場所打杭工に準ずる。				

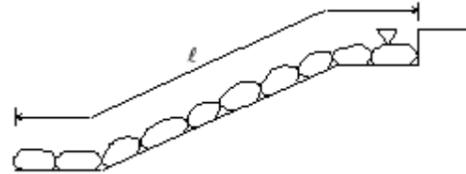
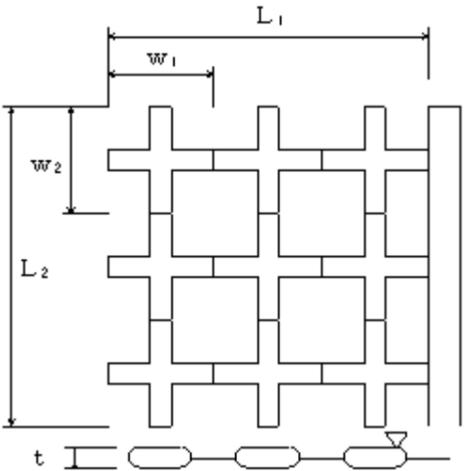
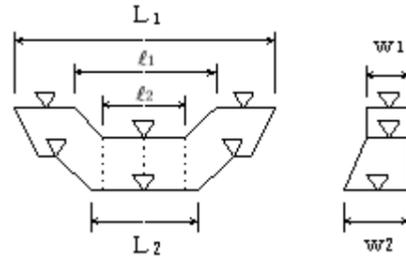
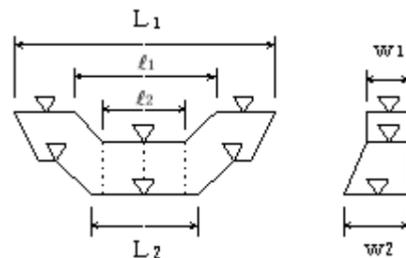
出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	河川編	6	排水機場	5	吐出水槽工			第1編 3-3-4 矢板工に準ずる。		
2	河川編	6	排水機場	6	本體工	基準高	±30	図面の寸法表示箇所にて測定。	<p>The diagram shows a top view and a side view of a drainage machine body. The top view is a rectangle with length L and width w, containing two circular holes. The side view shows a profile with a total height h2, a lower section height h1, and a thickness t.</p>	
				厚さ t	-20					
				幅 w	-30					
				高さ h ₁ , h ₂	±30					
				延長 L	-50					
2	河川編	7	床止め・床固め	4	既製杭工			第1編 3-4-4 既製杭工に準ずる。		
2	河川編	7	床止め・床固め	5	矢板工			第1編 3-3-4 矢板工に準ずる。		

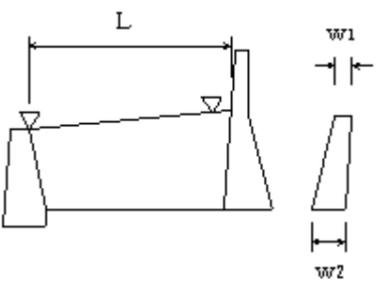
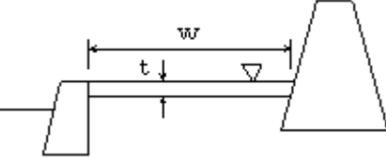
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要		
2	河川編	7	3	6	1	本體工 (床固め本體工)	基準高	±30	図面に表示してある箇所測定。			
						天端幅 w_1	-30					
						堤幅 w_2	-30					
						堤長 L_1, L_2	-100					
						水通し幅 D_1, D_2	±50					
2	河川編	7	3	6	2	本體工 (植石張り)		第1編 3-5-5 石積(張)工に準ずる。				
2	河川編	7	3	6	3	本體工 (根固めブロック)	基準高	層積	±100	施工延長 20mにつき 1箇所、延長 20m以下のものは 1施工箇所につき 2箇所。 幅、厚さは 20個につき 1箇所測定。 1 施工箇所毎		
								乱積	±t/2			
								厚さ t	-20			
							幅 w_1 w_2	層積	-20			
								乱積	-t/2			
							延長 L_1 L_2	層積	-200			
								乱積	-t/2			

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
2	河川編	7	3	7	取付擁壁工	基準高	±50	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
						厚さ t	-20				
						裏込厚さ	-50				
						幅 W1, W2	-30				
						高さ h	h < 3m				-50
							H 3m				-100
						延長 L	-200	1 施工箇所毎			
2	河川編	7	3	8	1	基準高	±30	基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所で測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。			
						厚さ t	-30				
						幅 w	-100				
						延長 L	-100				

出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	7	3	8	2	水叩工 (巨石張り)	基準高	±500	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
						法長D	-200			
						延長L	-200			
2	7	3	8	3	水叩工 (根固めブロック)	基準高	層積 ±100	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。 幅、厚さは20個につき1箇所測定。 1施工箇所毎		
							乱積 ±t/2			
							厚さt -20			
						幅W1	層積 -20			
						W2	乱積 -t/2			
							層積 -200			
						延長L1 L2	乱積 -t/2			
2	7	4	4		本堤工	基準高	±30	図面に表示してある箇所で測定。		
						天端幅 W1	-30			
						堤幅 W2	-30			
						堤長 L1, L2	-100			
						水通し幅D1, D2	±50			
2	7	4	5		垂直壁工	基準高	±30	図面に表示してある箇所で測定。		
						天端幅 W1	-30			
						堤幅 W2	-30			
						堤長 L1, L2	-100			
						水通し幅D1, D2	±50			

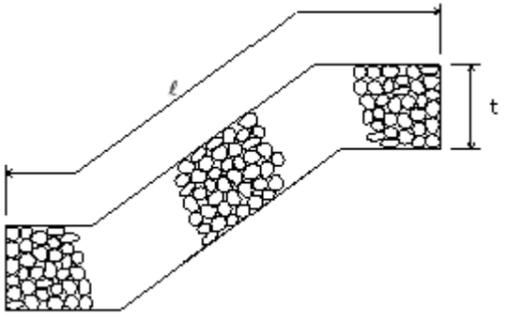
出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

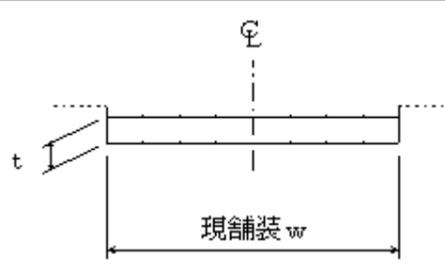
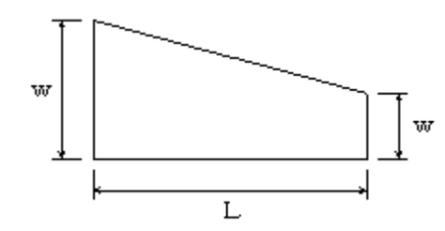
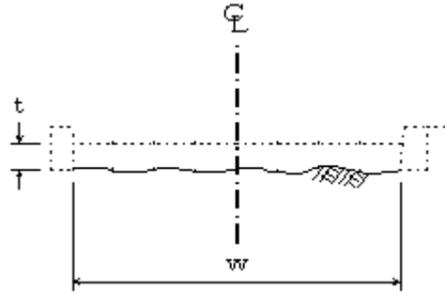
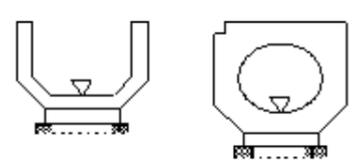
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	7	4	6		側壁工	基準高	±30	1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点到直角な水平延長を測定。		
						天端幅 w_1	-30			
						堤幅 w_2	-30			
						長さ L	-100			
2	7	4	7		水叩工	基準高	±30	基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所で測定。厚さは目地及びその中間点で測定。		
						厚さ t	-30			
						幅 w	-100			
						延長 L	-100			

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	河川編	7	山留擁壁工	3	コンクリート擁壁工	基準高	±50	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
						厚さ t	-20			
						裏込厚さ	-50			
						幅 w1, w2	-30			
						高さ h	h < 3m			
							h ≥ 3m	-100		
延長 L	-200	1 施工箇所毎								
2	河川編	7	山留擁壁工	4	ブロック積擁壁工			第1編 3-5-3 コンクリートブロック工に準ずる。		
2	河川編	7	山留擁壁工	5	石積み擁壁工			第1編 3-5-5 石積(張)工に準ずる。		

出来形管理基準及び規格値(単位:mm)

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	河川編	7	5	6	山留擁壁基礎工			第1編 3-4-3 法留基礎工に準ずる。		
2	河川編	8	7	3	天端補修工			第1編 4-3-6 天端敷砂利工に準ずる。		
2	河川編	8	7	4	コンクリート舗装補修工			第1編 3-6-6 コンクリート舗装工に準ずる。		
2	河川編	8	7	5	アスファルト舗装補修工			第1編 3-6-5 アスファルト舗装工に準ずる。		
2	河川編	8	7	6	付属物復旧工			第1編 3-3-11 路側防護柵工に準ずる。		
2	河川編	8	9	3	樹木・芝生管理工			第1編 3-3-7 植生工に準ずる。		
2	河川編	9	3	2	覆土工			第1編 4-3-5 整形仕上げ工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	9	3	3		植生工			第1編 3-3-7 植生工に準ずる。		
2	9	4	2	1	縁切工 (じゃかご工)	法長 $\square < 3m$	-50	施工延長 20mにつき 1箇所、延長 20m以下のものは 1施工箇所につき 2箇所。		
						法長 $\square \geq 3m$	-100			
						厚 さ t	-50			
2	9	4	2	2	縁切工 (連節ブロック張り)			第1編 3-5-3 コンクリートブロック工に準ずる。		
2	9	4	2	3	縁切工 (コンクリートブロック張り)			第1編 3-5-3 コンクリートブロック工に準ずる。		
2	9	4	2	4	縁切工 (石張り)			第1編 3-5-5 石積(張)工に準ずる。		
2	9	4	3		植生工			第1編 3-3-7 植生工に準ずる。		
2	9	5	3		石積み工			第1編 3-5-5 石積(張)工に準ずる。		
2	9	5	4		コンクリートブロック工			第1編 3-5-3 コンクリートブロック工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘要
							個々の測定値(X)	平均の測定値(X ₁₀)			
2	9	6	2		路面切削工	厚さ t	-7	-2	厚さは20m毎に現舗装高切削後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 延長20m未満の場合は、2箇所/施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。 測定方法は自動横断測定法によることが出来る。		
						幅 w	-25	-			
2	9	6	3		舗装打換え工	路盤工	幅 w	-50	各層毎1箇所/1施工箇所		
							延長 L	-100			
							厚さ t	該当工種			
						舗設工	幅 w	-25			
							延長 L	-100			
							厚さ t	該当工種			
2	9	6	4		オ-バ-レイ工	厚さ t	-9	厚さは20m毎に現舗装高とオ-バ-レイ後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、延長20m未満の場合は、2箇所/施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。			
						幅 w	-25				
						延長 L	-100				
						平坦性	3mプロフィールメ-タ-()2.4mm以下 直読式(足付き)() 1.75mm以下				
2	9	6	5	1	排水構造物修繕工 (プレキャストU型側溝・管 (函)渠)	基準高	±30	施工延長につき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
						延長 L	-200				1施工箇所毎

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2 河川編	9 河川修繕	6 管理用通路修繕工	5	2	排水構造物修繕工 (集水桝工)	基準高	±30	1箇所毎 は現場打ち部分のある場合		
						厚さ $t_1 \sim t_5$	-20			
						幅 w_1, w_2	-30			
						高さ h_1, h_2	-30			
2 河川編	9 河川修繕	6 管理用通路修繕工	6		防護柵修繕工 (ガードレール) (ガードパイプ)			第1編 3-3-11 路側防護柵工に準ずる。		
2 河川編	9 河川修繕	6 管理用通路修繕工	7		道路付属施設修繕工 (歩車道境界ブロック)			第1編 3-3-8 縁石工に準ずる。		
2 河川編	9 河川修繕	7 現場塗装工	3		付属物塗装工	塗膜厚	a. ロットの塗膜厚平均値は、目標塗膜厚合計値の90%以上。 b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%以上。 c. 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%を超えない。ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。	塗装終了時に測定。 1ロットの大きさは500㎡とする。 1ロット当たりの測定数は25点とし、各点の測定は5回行い、その平均値をその点の測定値とする。		
2 河川編	9 河川修繕	7 現場塗装工	4		コンクリート面塗装工			第1編 3-3-16 コンクリート面塗装工に準ずる。		